



The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships

30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534

Tel: 81-3-3888-8256 Fax: 81-3-3888-8242 E-mail: shouhei-au@aots.jp URL: <http://www.aots.jp/>

技術協力活用型・
新興国市場開拓事業
(研修・専門家派遣・寄附講座開設事業)

2025 年 4 月

募集要項

アフリカ企業経営研修コース

-日本のビジネスイノベーションから学ぶ-

The Program on Corporate Management for Africa

-Learning from Japanese Business Innovations-

[AFCM]

来日研修：2025 年 8 月 13 日～8 月 26 日
帰国後オンライン研修：2025 年 11 月 19 日

1. コース開設の背景：

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修及び専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

AOTS は 1959 年（昭和 34 年）8 月に日本で最初の民間による技術協力機関として通商産業省（現・経済産業省）の認可を受け設立され、これまでに日本で実施した研修には、2023 年度（令和 5 年度）までに世界 198 の国と地域から延べ 200,000 人余りが参加したほか、海外で実施した研修にも延べ 240,000 人余りが参加しています。

AOTS は帰国後の参加者や開発途上諸国の産業界からの要望に基づき、様々な研修コースの企画、開発に努めています。

アフリカ企業経営研修コース（AFCM）は、AOTS アフリカ同窓会連合（AFAAS）の協力を受け企画されるコースで、アフリカの企業または組織で働く経営者・経営幹部の経営能力の向上を目的として設計されています。本プログラムでは、特に新規ビジネス創出や既存ビジネスを再構築するためのイノベーションについて学び、理解することで自社を今後発展させていくために何が必要かを明確にし、自社における効果的なビジネス戦略を立てられるようになることを目的とします。

※本プログラムはアフリカの開発をテーマとする国際会議 TICAD（Tokyo International Conference on African Development（アフリカ開発会議））の第 9 回となる TICAD9 の実施期間（8 月 20 日～22 日、開催地横浜）にあわせて実施します。プログラム内で TICAD9 の共催イベント「TICAD Business Expo and Conference」等を見学する等のカリキュラムを予定しています。

2. 対象国：

下記の対象国・地域一覧表をご覧ください。

対象国・地域一覧

Category 2		
Algeria	Eswatini	Namibia
Angola	Ethiopia	Niger
Benin	Gabon	Nigeria
Botswana	Gambia	Rwanda
Burkina Faso	Ghana	Sao Tome and Principe
Burundi	Guinea	Senegal
Cabo Verde	Guinea-Bissau	Sierra Leone
Cameroon	Kenya	Somalia
Central African Rep.	Lesotho	South Africa
Chad	Liberia	South Sudan
Comoros	Madagascar	Sudan
Côte d'Ivoire	Malawi	Tanzania
Democratic Republic of the Congo	Mali	Togo
Djibouti	Mauritania	Tunisia
Egypt	Mauritius	Uganda
Equatorial Guinea	Morocco	Zambia
Eritrea	Mozambique	Zimbabwe

注. 上記の表はアルファベット順で序列し、国・地域名は一般名称にて表記しています。

3. 参加者の人数：

15 名

4. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 原則として、アフリカの企業・組織の経営者、経営幹部、及び中上級管理者
 - (2) 年齢は 20 歳以上の方
 - (3) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
 - (4) 英語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
 - (5) 心身健康な方
 - (6) 上記 2 の対象国に居住の方
 - (7) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
 - (8) 過去に AOTS が実施する国庫補助事業の研修制度で来日した方は、帰国後半年（183 日）以内に開始されるコースに応募することはできません。
- ＊ 勤務先が日系企業、日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業の方が望ましい。（日系企業や日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が高くなります。）

注意：

- (1) コース参加者は、研修コースの全てのカリキュラムに参加する必要があります。（帰国後のオンライン研修も含む）
- (2) 日本へ家族や会社の同僚・部下等を同伴することはできません。
- (3) 参加者は AOTS に対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、実地研修を計画し、AOTS の承認を受けた場合はこの限りではありません。
- (4) 日本以外の先進国資本が入った企業からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。
- (5) 本研修は、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政府機関からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。
- (6) 申し込み人数が定員を上回る場合は、日本の受入企業または海外の派遣企業 1 社当たりの参加人数を制限させていただくことがあります。

5. 応募方法：

日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む場合と、海外の現地法人が直接 AOTS に申し込む場合では、応募方法、提出書類等が異なりますので、ご注意ください。

- (1) 管理研修参加後に実地研修を希望する場合、受入企業となる日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む必要があります。
- (2) 日本国内の法人を通じて申し込む場合、渡航費は対象となりません。但しアフリカからの参加者を受入れる場合のみ渡航費を対象とします。

（日本国内の法人を通じてのお申込みの場合）

- (1) 仮申込み：お電話、または E-mail にて検討されている研修の概要（研修対象者の属性、実地研修の有無等）をご連絡ください。そのうえで、以下の応募書類を **2025 年 6 月 3 日（火）** までに、AOTS 企業連携第 1 グループ/企業連携第 2 グループ（1 2. お問い合わせご参照）までご提出ください。
1. 研修申込書（概要） 2. 研修生個人記録並びに研修契約に関する申告書 3. 事前研修レポート
- (2) 本申込み：仮申込み受理の連絡を受けた後、本申込みに必要な書類の準備、段取りなどについて、ご案内いたします。
※ご不明点等ありましたら企業連携第 1 グループ/企業連携第 2 グループにお問い合わせください。（1 2. お問い合わせご参照）
※上記 AOTS 所定様式は当協会ホームページからダウンロードできます。
【日本語】<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/download/#kanri-shinkokoku>

（海外の現地法人から AOTS に直接お申込みの場合）

AOTS 海外協力機関を通して、以下の応募書類一式を PDF・エクセル両方の形式で、**2025 年 6 月 3 日（火）** までに AOTS 海外協力第 1 グループに到着するよう提出してください。
応募書類の提出期限は、各機関によって異なりますので、AOTS 海外協力第 1 グループ（1 2. お問合

せご参照)にお問合せください。

お申込者には AOTS 海外協力機関による面接をさせていただきます。

- (1) 研修申込書、研修生個人記録申告書 (AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください)

※PDF・エクセル両方のソフトコピーを提出

- (2) 日本企業との取引および日本市場への参入に関する調査票 ※エクセル

- (3) 問診書 (AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください) ※PDF

- (4) 研修生個人情報の取り扱いについて (AOTS 所定様式) ※PDF

- (5) 海外旅行保険承諾書 (AOTS 所定様式) ※PDF

- (6) 研修契約に関する申告書 (日系派遣企業用) ※PDF

- (7) 勤務先概要を紹介する資料 ※PDF

- (8) 顔写真データ (データタイトルに氏名を入力してください) ※JPEG または PDF

- (9) パスポートコピー ※PDF

※パスポートをお持ちでない場合は、自動車免許証コピーや ID カードコピー等 (公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、生年月日が記載されているもの) を提出してください。

- (10) 事前研修レポート ※WORD

注意：

※他にも必要に応じて書類を求めることがあります。

※AOTS 所定様式については AOTS 海外協力第 1 グループ (12. お問合せご参照) にお問合せください。

提出された応募書類は、2025 年 7 月 3 日 (木) の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTS より連絡いたします。

注：応募者が締切日時時点で 15 名に満たない場合、本コースを中止または延期する場合があります。

6. 研修コースの概要：

■ 目的

本コースは、アフリカ各国の経営者、経営幹部、上中級管理者等が、企業経営に関する経営手法や新規ビジネス創出や既存ビジネスを再構築する方法、また日本企業のイノベーション取組事例等を学び、理解することで、自社を今後発展させていくために何が必要かを明確にし、自社における効果的なビジネス戦略を立てられるようになることを目的としています。

■ 期待される効果

- (1) 企業内で、経営者・経営幹部等に必要となるリーダーシップに関する基本的な知識、経営理念と企業文化の考え方について理解を深めることができます。
- (2) 新規事業開発や既存ビジネスの発展に向けた考え方、方法について学ぶことができます。
- (3) 経営者としての視野を広げ、帰国後に自社で抱える経営課題をどのように解決、改善するのかについて具体的な活動計画を作成することができます。

■ 期間

2025年8月13日 (水)～8月26日 (火) (14日間・関西研修センター)

2025年11月19日 (水) (1日・オンライン)

■ 内容

【第一段階】

会社経営に携わる者として、まずは自身について振り返り、経営者としてどのようにリーダーシップを持ちマネジメントしていくべきなのかを理解します。また、経営理念と企業文化の考え方等について事例や演習等を通じて理解を深めます。

【第二段階】

自社のビジネスを再構築し更なる付加価値を生み出すことや、新規ビジネスを創出することを目指し、

そのためのビジネスにおけるイノベーションとは何かについて学びます。また、日本企業におけるイノベーション事例を通じて、イノベティブな事業案構築についてさらに理解を深めます。

【第三段階】

アフリカに進出または進出を検討している日本企業のニーズや、現地パートナー企業となるためのポイント等について事例やビジネス交流会等を通じて理解を深めます。

【第四段階】

コースで学んだ手法や事例を振り返り、自社で抱える経営課題をどのように解決、改善していくかについてディスカッションを通して考察します。また、具体的な活動計画をまとめたロードマップを作成し、今後の活動に向けた準備を行います。

【第五段階】（帰国後オンライン研修）

来日研修を受講し、帰国後にどのように学びを実務に活かしているかを参加者が発表します。それらの発表とそれに対する講師コメントから、今後の事業・活動計画の更なる推進を目指します。

コースは通常午前3時間、午後3時間の講義からなり、夕食前にグループ討論が行われます。詳細は日程表（予定）をご覧ください。

■ 使用言語

講義、企業見学、演習は英語あるいは英語通訳付で行われます。コースで使用する資料と教材は英語で作成されます。

■ 研修場所と宿泊施設（予定）

AOTS 関西研修センター(TKC) <http://www.aots.jp/jp/center/about/kkc.html>

〒558-0021 大阪府大阪市住吉区浅香1丁目7-5

電話：06-6608-8260（受付） ファックス：06-6690-2678

アフリカ企業経営研修コース [AFCM] 日程（予定）

2025年8月13日～8月26日

AOTS 関西研修センター（予定）

月／日	午前	午後
8/12(火)	来日	
13(水)	オリエンテーション／開講式	講義・演習：経営者としてのリーダーシップ
14(木)	講義・演習：経営理念と企業文化	
15(金)	企業見学：最先端の日本企業の技術・製品・サービス事例	
16(土)	休日	
17(日)	休日	
18(月)	講義・演習：イノベーション・新規ビジネスの創出	
19(火)	講義・演習：ビジネスモデルキャンパス（BMC）を使ったビジネスプラン策定	
20(水)	企業等見学 （遠隔地）	企業見学：イノベーション取組事例（1）
21(木)		企業見学：日本企業のアフリカビジネス展開事例（1） 会議：日本企業とのビジネス交流会
22(金)		企業見学：日本企業のアフリカビジネス展開事例（2）
23(土)	休日	
24(日)	休日	
25(月)	講義：日本企業のアフリカビジネス展開事例	企業見学：イノベーション取組事例（2）
26(火)	研修総括・総合質疑／修了式	
27(水)	帰国	

帰国後研修（オンラインにて実施）

月／日	日本時間 17:00-19:00
11/19(水)	参加者の帰国後成果発表

注意：

- （1）上記のスケジュールは、講師や協力企業の都合、その他のやむをえない事情のために変更されることがあります。
- （2）夕食後グループ討論を行うことがあります。
- （3）土日は基本的に休日ですが、必要があれば講義を行うこともあります。
- （4）「日本企業とのビジネス交流会」等にて、参加者にプレゼンテーションを依頼することがあります。

7. 到着日及び出発日について：

参加者は、原則として研修開始日前日に日本に到着し、研修終了日翌日に日本を出発することとします。

8. 経費：

<日本国内の法人からお申し込みの場合>

以下の試算例をご参照ください。

いずれの試算例も、コース開始前日 8/12 来日・終了日翌日 8/27 帰国 14 日コース
関西国際空港・関西研修センター間移動の場合です。

【試算例 1】中堅・中小企業の場合 受入費補助率 3/3（100%）

（日本円）

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	654,120	[3/3] 654,120	[0] 0
2. 研修実施費	550,000	394,000	156,000
合計	1,204,120	1,048,120	156,000

【試算例 2】大企業の場合 受入費補助率 2/3

（日本円）

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	654,120	[2/3] 436,080	[1/3] 218,040
2. 研修実施費	550,000	344,000	206,000
合計	1,204,120	780,080	424,040

※受入費は下記受入費基準額一覧をもとに計算しております。そのほか、国内移動費（関西国際空港・関西研修センター間）および厚生費（管理研修期間中の海外旅行保険代等）が含まれます。

※渡航費はアフリカの場合、補助対象となります。渡航費は海外からの申込の場合の 2024 年度のエジプトの航空券補助上限額（451,070 円）で試算しています。

※研修コース参加後に現地研修をご希望の場合、経費については、AOTS 企業連携部 企業連携第 1 グループ/企業連携第 2 グループ（12. お問い合わせご参照）にお問い合わせ願います。

※中堅企業とは資本金 10 億円未満の企業、中小企業とは中小企業基本法に規定する中小企業、一般企業とは中堅企業、中小企業以外の企業をいいます。但し、資本金又は出資金が 10 億円以上の法人に直接又は間接に 100%の株式を保有される事業者は中堅・中小企業としません。

◎受入費基準額一覧

AOTS 研修センター 宿舍費・食費	来日時のみ	10,600 円／泊
	来日時以外	11,600 円／泊
研修旅行時	宿舍費	14,500 円／泊
	食費	3,100 円／泊
雑費		1,000 円／泊

※管理研修終了後、現地研修を実施することができます。その場合、以下現地研修費が補助対象となります。

実地研修費	AOTS 基準	備考
実地研修に必要な経費に充当 (実地研修期間中における研修用資材、 研修生の交通費、受入企業の指導員の人 件費などの諸経費に充当するもの)	大企業 3,360 円/日	・日額単価・暦日 ・研修生への支払い方法は現物提供
	中堅・中小企業 5,190 円/日	

<海外の法人からお申し込みの場合>

英語版募集要項(The Program Outline)をご参照下さい。下記 URL より該当コースの募集要項をダウンロードください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/course/>

9. 査証 (V I S A) の取得について :

(1) 在留資格

日本で研修するために必要な在留資格は「研修」です。

(2) 査証の取得

参加者は、AOTS が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって自身で在外日本国大使館/総領事館 (以下「在外公館」とする) にて「研修」査証の申請、取得をしてください。ただし、申請書類が本省照会となり時間がかかる場合があるため時間に余裕をもって申請することを強くお勧めします。

(3) 注意事項

既に「短期滞在査証」、「短期数次査証」、「A P E C ・ビジネス・トラベルカード (A B T C)」等、「研修」以外の査証を取得している方、または査証免除国・地域からの参加者は、既存の査証が日本での研修コース参加という滞在資格に合致していることを事前に、必ず最寄りの在外公館にて事前確認してください。

10. 海外旅行保険の付保について

AOTS は、参加者に対し日本に到着した時から、日本を出発するまでの期間を補償対象とした海外旅行保険を付保します。付保内容は傷病により医療機関で診療を受ける際の医療費と賠償責任・救済者費用で構成されています。別紙を参照の上、研修申込時に海外旅行保険付保に対する同意の意思確認のためサイン済みの同意書を提出してください。

11. 個人情報の取扱いについて :

AOTS が取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

(1) 個人情報の管理者 : 一般財団法人海外産業人材育成協会 総務企画部長

連絡先 : 総務企画部 総務・人事グループ

電話 : 03-3888-8211 E-mail: kojinjoho-cj@aots.jp

(2) 利用目的

ご提供いただいた個人情報は、参加者受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。それ以外の利用目的または法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。

尚 AOTS の個人情報保護方針は、<http://www.aots.jp/jp/policy/privacy.html> をご覧ください。

12. お問い合わせ :

一般財団法人 海外産業人材育成協会

日本国内の法人を通じてのお申込の場合

企業連携部 企業連携第1グループ/企業連携第2グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話 : 03-3888-8221

Fax : 03-3888-8428

E-mail: kigyo-inquiry-az@aots.jp

海外の法人から直接のお申込の場合

海外統括部 海外協力第1グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8256

Fax：03-3888-8242

E-mail: shouhei-au@aots.jp

PRE-TRAINING REPORT

The Program on Corporate Management for Africa [AFCM]

Please fill in the following items by using a personal computer or similar equipment in English. Handwriting should be avoided. AOTS will duplicate and distribute it to lecturers and other participants as a reference material for the group discussion and the presentations to be held during the program.

1. Your name	
2. Your country	
3. Name of your company/ organization	
4. Outline of your organization (preferably attach an organization brochure)	
5. Your position and department (preferably attach an organizational chart, indicating your position)	
6. Your duties in detail	
7. Please describe the most critical managerial problems you are now facing, indicating their causes from your viewpoint.	

8. Please describe possible measures to solve such problems that you mentioned in the above question 7.	
9. Please provide any new business ideas or ideas for restructuring existing business. If no, please tell us your area of interest if you were to launch a new business.	
10. What are your expectations of this training program?	